



わかくさ



HP QRコード

第 11 号

令和 7 年 1 月 8 日
いじめに関する情報は学校まで
どうぞお知らせください。

希望あふれる新しい一年がスタート! ~3学期始業式~

新しい一年が始まりました。子供たちの笑顔と元気な声が学校に戻り、無事に3学期のスタートを切ることができ、うれしく思います。今年も、子供たちが新たな目標に向かって更に成長できるよう教職員一同尽力して参ります。本年も皆様の御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。



今年巳年で、干支は「乙巳(きのとみ)」です。60年周期の干支の中で42番目に位置し、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。

「乙巳」にちなんで、「努力」について、ある学校の1年生が書いた作文をお届けします。担任をしていた頃、よく子供たちに読んで聞かせていました。本日の始業式で本校の子供たちにもお話ししました。

「努力のつぼ」

1年 K.A

「お母さん、努力のつぼのはなし、またして。」

「ウンいいよ。こんどはなあに。」

「さかあがり。」

「あらあら、まだいっぱいになっていなかったのね。ずいぶん大きいね。」と、いいながら、お母さんは、いすをひいて、わたしの前にすわりました。そして、もうなん回もしてくれた、「努力のつぼ」のはなしをまた、ゆっくりとはじめました。それはこんなおはなしです。

人がなにかをはじめようとか、いままでできなかったことをやろうと思ったとき、かみさまから「努力のつぼ」をもらいます。そのつぼには、いろいろな大きさがあって、人によって、ときには大きいものやら、小さいのやいろいろあります。そしてそのつぼは、その人には見えないのです。でも、その人がつぼの中に、いっしょうけんめい「努力」を入れていくと、それがすこしずつたまって、いつか「努力」があふれるとき、つぼの大きさがわかる、というのです。だからやすまずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか、かならずできるときがくるのです。

わたしは、このはなしが大すきです。ようちえんのときはじめてお母さんからききました。そのときは、「よこばしご」のれんしゅうをしているときでした。それから、「一りん車」「てつぼうのまえまわり」「とびばこ」「竹うま」。なんでもがんばってやっているとき、お母さんにたのんで、このはなしをしてもらいます。くじけそうになるときでも、このはなしをきいていると、心の中に大きなつぼが見えてくるような気がします。

そして、わたしの「努力」がもうすこしであふれそうに見えるのです。だから、またがんばる気持ちになれます。

お母さんのいうとおり、この「さかあがり」のつぼは、ずいぶん大きいみたいです。

「さかあがり」をはじめから、もう二回もこのはなしをしてもらいました。でも、こんどこそ、あとすこしで、あふれそうな気がします。だから、あしたからまたがんばろうと思います。

お母さんは、「つぼが大きいとたいへんだけど、中みがいっぱいあるから、あなたのためになるのよ。」と、いつてくれるけど、こんど、かみさまからもらうときには、もうすこし小さなつぼがいいなあと思います。



出典：朝日作文コンクール「子どもを変えた親の一言」作文 25 選 (明治図書)

いつかつぼがあふれるとき、子供たちは「自信」と「成長」を手に行っていることでしょう。どんな大きさのつぼでも、少しずつ「努力」を続け、目標や夢をかなえられるといいですね。私自身も「努力」の大切さを忘れずにいたいと思います。

校長 生出 真理

大和町大切にしたい 4 つの言葉「はい おはよう ありがとう ごめんなさい」

大和町大切にしたい 4 つの力「人を大切にする力 自分の考えを持つ力 自分を表現する力 チャレンジする力」